



新村の人口・世帯数
 平成 28 年 7 月 1 日現在
 人口 3,293 人
 世帯数 1,285 世帯

地域の防災力向上に向けて

今年度第 1 回の防災訓練が松本大学の会場を中心に開催され、約 130 名の参加をみました。

熊本地震から 3 ヶ月余、また報道等からは糸魚川静岡活断層帯において向こう 30 年に震度 6 以上の地震が発生する確率が約 30% と高いことから、今回の実施となりました。「ささえ愛カード」による安否確認を最初



起震車で震度 7 を体感



心肺蘇生の手順を学ぶ

に、一次集合格場所への避難松大生の協力による被害状況報告訓練を行いました。

その後松本大学に集結し、阪神淡路大震災と東日本大震災を経験された森永氏の講演を聴き、日頃の備えが大切であり、被害が拡大しないための行動そして避難所運営は日頃のコミュニケーションが大事であること等参考になりました。

体験では震度 7 の立てないほどの揺れを体感し、また煙の怖さも実感し、万が一のときの AED 講習では皆さん真剣に取り組んでいました。次回は 11 月頃避難所運営を主体とした訓練を計画しています。

町会連合会 熊本地震の義援金を寄託

6 月 30 日 (木) 町会連合会の新村芳男会長が熊本地震被災地への義援金 64 万 9845 円を市に寄託しました。

人権啓発視察研修



人権啓発センターでの研修の様子

6 月 24 日 (金) 人権啓発推進協議会、新村公民館主催の視察研修が開催され、16 名が参加しました。

今回は「知っておきたい男女共同参画社会」というテーマを設定し、県の人権啓発センターにて、人権の諸問題に関する DVD の視聴と人権相談員の方からの講義を受け、人権意識の高揚を図りました。「男女共同参画」と聞くと難しい印象を受けますが、講義の中では、「性別に関わりなく、全ての人が『自分らしく』生き、そして共に責任を担う社会」と表現され、そうならない現実があることをま

ずは知ることが重要だと感じました。また、参加者からは家庭や職場など、自分に身近な所で起こりうる問題として捉え、意識を持つことが大切だとの意見も出されました。国が定める「男女共同参画週間」に実施された今回の研修、有意義な時間になりました。

ボランティアア新村

公民館 花壇の整備で華やかに
 6 月 18 日 (土) 「ボランティアア新村」の皆さんや緑化推進員の方々を中心に花壇の整備作業が行われ、公民館がきれいな花で彩られました。

ゆめの里のシート交換や地域の見守り活動、育児サークルの支援など、様々な形で地域に貢献をいただいている「ボランティアア新村」の皆さん、今年に入ってから、あたらしの郷協議会と連携して「銭太鼓」の練習を始めるなど、元気に活動されています。今回のような、花壇の整備は春と秋の 2 回実施し、同時に公民館の周りの草取り等もご協力をいただいています。普段何気なく通りすぎる玄関ポーチ。少し立ち止まって花々に目を向けていただくと幸いです。



手際よく花の植え替え

八束穂

車の運転をしていると、ランドセルを背負った小学生達が道路を渡るうと手を上げて立っている。停車し、渡り切る子供達を見届ける

と、丁寧に「ありがとうございませう」と爽やかな声が返ってきます。ほほ笑ましく気持ちがいい▼薄暗くなった夕方、ウォーキングをしていると大学の野球部の部員達が練習を終えて野球場から出て来た。すれ違い際に「こんにちは」と全員でそるつて、はつらつとした声が返ってきた。予期せぬ若者達の挨拶に思わず振り返った▼松本山雅のサポーターの多さはホーム、アウェイを問わず全国的に有名だが、マナーと挨拶の良いこともよく知られている。松本に来られた相手チームのサポーターにとって「ようこそ松本へ」との挨拶は驚きだ。よそのチームではないことだと言う。さらに当日の試合で松本山雅が負けても、「気を付けてお帰り下さい」と気遣われ、またびつくり。ほんのひと言の挨拶でも人の気持ちをも明るくするのに十分な効果がある。

ものぐさ大学 自然観察会

梅雨の晴れ間の7月1日(金)に、湯の丸高原、池の平湿原へ29名の皆さんと自然観察会へ行ってきました。

バスの中では根橋先生のお話を聞き、湯の丸の地質について説明を聞きました。

これらの学習内容をもとに植物の観察をしました。

今年7月初旬がレンゲツジの見頃なのですが、今年は季節が半月程早く進んでいた



小雨に煙る牛伏寺を後に...

おでかけウォーキングも順調に回を重ね、毎回楽しみに参加される方も増えてきた。今回は小雨の中、内田地区福祉ひろばの方と一緒に牛伏寺を参拝し、奥殿にて副住職から貴重な仏像の説明を受けた。午後には雨もあがり、あじさいで有名な法船寺まで歩く途中の眼下では松本平を広く見渡せ、歓声があがった。他地区を歩いてみると毎回発見や感動があり、地域おこしの試みに刺激を受ける。「紅葉の頃ゆっくり歩きたい。」そんな感想も聞かれた地区だった。

梅雨の内田地区へ

馬場家住宅では古き豪農の暮らし振りにふれ、七夕の飾り物と共に楽しんだ。

昼食時には内田の公民館長からこの地に多く点在する遺跡や文化財の話をお聞きした。

午後には雨もあがり、あじさいで有名な法船寺まで歩く途中の眼下では松本平を広く見渡せ、歓声があがった。

他地区を歩いてみると毎回発見や感動があり、地域おこしの試みに刺激を受ける。「紅葉の頃ゆっくり歩きたい。」そんな感想も聞かれた地区だった。



根橋先生の説明に耳を傾ける皆さん

新任校長先生紹介



芝沢小学校長 飯沼 秀文先生

4月に芝沢小学校に着任し、お世話になっていきます。周りには芝生、時期になるとホタルも飛び交うせせらぎ、休み時間ともなると、我先にと昆虫を採りにいく子ども達そんな自然豊かで、元気な子ども達のいる学校に勤務させていただき感謝しています。赴任し数ヶ月、保護者、地域の皆様の学校に寄せる思いを感じています。そんな皆様の本校への期待を真摯に受け止め、教育活動に全職員で取り組んでいきたいと思えます。また、一昨年度より、コミュニケーション「芝っこ応援団」が立ち上がりました。今まで以上に地域の中の学校として関わって頂いていることに感謝し、今後更にご理解、ご協力をお願いします。



高綱中学生地域交流で 新村の戦争史跡を学ぶ

6月2日(木)高綱中学校の生徒70名が、ものぐさ公園と旧新村小学校跡地の清掃作業にきました。この跡地には戦没者を祀った忠魂碑があります。中学生はこの忠魂碑前の清掃は初めてです。学校から依頼もあり「忠魂碑と今日の平和な暮らし」と題した公民館長のお話を生徒たちは神妙に聞いていました。後日、生徒達の作文が公民館に寄せられました。



一生懸命に心を込めてきれいにしました

戦争の史跡が自分達の身近な場所にあることや、朝夕の通学路脇にある等の驚きが綴られていました。世界各地では未だ戦火が絶えない中、私たちは平和な暮らしを享受しています。これは自らの命を盾に犠牲になった方々のお陰であり、二度と悲しい思いのない世の中にしなくてはとの気持ちが入められていました。誰からも教えられていなかった戦争史跡が現存する驚きとともに、平和を守ることの大切さが一層身近なことで感じられたことでしょう。

消防第11分団が健闘

6月5日(日)に行われた松本市消防ポンプ操法大会小型ポンプ操法の部において、新村の第11分団が見事第3位に入賞しました。

町会対抗球技大会

5月22日(日)町会対抗ソフトボール・ソフトバレーボール大会が行われました。

- ソフトボール
 - Aコート 準優勝 上東
 - Bコート 準優勝 南中
- ソフトバレーボール
 - 優勝 下北 準優勝 上東
 - 優勝 南東 準優勝 南中

- ソフトバレーボール
 - 優勝 下北 準優勝 上東
 - 3位 北東
 - シニアクラス
 - 優勝 山王 準優勝 南東
 - 3位 上東

ワンバウンドふらばーる バレーオープン大会

7月3日(日)芝沢体育館にて、松本大学の2チームを含む全12チームが参加し、開催されました。

